

「あすなろ」便り

No.84

2011. 2. 29

発行：あすなろ
TEL：046-254-2005



絵手紙教室

今日は第3火曜日、恒例の絵手紙教室です。今日の生徒は、小学生の子供達はお休みなので、ボランティアの方と学習支援の先生、スタッフ達です。先生もスタッフの一員です。「下手がいい・下手でいい」の言葉に載せられて挑戦。庭のスイセンを摘んできて描いた人や皆さん様々で、色付けや一言文に悪戦苦闘しながら、素敵な作品が出来上がり、楽しいひと時でした。参加できなかった人達にとっても、出来上がったものを見せて頂けるので楽しみな教室です。地域の方達にも参加して頂けるといいな～！



ボランティアの集いに参加して「こんなボランティアあったら良いな」

2月14日(火)午後ハーモニーホール多目的室においてボランティアの集いが行われました。沢山の方(50名以上)とのアイスブレイキングの後、7組に分かれて、グループディスカッションを行いました。手元のある折り紙で、震災の被災地にお届けする鶴を折ったり、お菓子やお茶を飲みながらそれぞれのボランティア活動の現状や、悩みなどを話しました。中には何かボランティア活動に参加したいという方も見えていますが、活動実践者の話に押され気味で、会話は弾んでいなかったようです。タイトルの「こんなボランティア あったらいいな」と言う話は、残念ながら私の参加したグループでは出来ませんでした。司会に方の進行の仕方が難しい内容だったのかもしれませんが、結果的に目的が果たせなかったように思いました。

うどん打ち大会 NO. 2



2月23(木)小田原のCLCA(生活文化協会)の皆さんをお迎えして、恒例のうどん打ちが行われました。CLCAの皆さんは、交流も兼ねた麦刈り、脱穀の応援に毎年来てくださり、高齢化したあすなろのスタッフにとって、頼もしく本当に助かり、嬉しい限りです。

当日あすなろ行事日には、珍しく大雨が降り、準備やガスのトラブルは有ったものの、会を重ねるごとに、皆さん慣れた手つきでうどん打ちを進めていきます。出来栄は言うまでもありません。

ツルツル、しこしこ、美味しいこしの有るうどんが出来たようです。あすなろスタッフが用意したけんちん汁と共に頂きました。

午後は、私達が日頃相手出来ないスポーツなどでの交流を予定していましたが、生憎のお天気でしたので、室内でゲームしたり、春の歌などで盛り上がり、楽しいひと時を過ごすことが出来たようです。CLCAの皆さんは、あすなろの子供達とは年代も違う青年達ですが、皆さん準備から片付けまで、手際のいい事、廊下を隅々まで黙って雑巾がけをしてくれた青年が居たり、関心する事ばかりのスタッフ達でした。スタッフ曰く、「これはやっぱり日頃からの訓練に尽きるね」です。

座間市相互提案型協働事業

平成24年度座間市相互提案型協働事業に、団体提案事業として「不登校・ひきこもり居場所あすなろ」が応募しました。あすなろは平成14年に設立して今年で10年目を迎えます。創始者が不登校児童生徒と保護者やひきこもりの人達が安心して居られる居場所を目指して開設しました。そして、その創始者の要請によってこの趣旨に賛同したボランティアが集まりました。スタッフ全員がこの「あすなろ」維持のため、様々な分野で手作りで協力し支援してきました。不登校の子ども達がここでゆっくりと心の傷を癒やし仲間と交流情報交換をして、生きる力を養い社会へ、または学校へと歩んでいきました。しかし、あすなろが更なる充実を図るには関連する行政の力をお願いして提携することによってステップアップして、市民の皆さんに広く理解して頂けるものと考えます。

そこで、今回の提案書には、専門家(臨床心理士)の相談日を設ける事・活動時間を従来より長くする事・県内外の他の支援団体と協力してお祭り事業やスポーツ大会を開催する事・いずれは公設民営化を目指す事によって、不登校児やひきこもりの人達だけでなく、地域の幼児や高齢者と交流できる居場所として活用できるようにしていきたい事を提案概要としました。

この協働事業はあすなろの今後の運営の可否を問われる大事な事業となりますので、第1次審査及び第2次審査の結果が待たれます。